

2020 年度事業報告書

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人埼玉 NGO ネットワーク

1. NGO ネットワーキング推進事業

NGO の運営及び事業の向上を進めるため、団体会員を中心に NGO 間で情報・体験・意見の共有、相互の学び、国内外での事業連携・協力などネットワーキングを進めました。新型コロナウイルスの影響により、総会及び理事会は電子メール方式に切り替え、情報交換会も当初は中止とし、その後、オンライン開催にしました。公開勉強会は 1 回の開催に留まり、場づくりは必ずしも十分とは言えない状態でしたが、理事・監事メーリングリストを新たに作り意見交換を行い、会員等のメーリングリストによる情報提供・交換、フェイスブック及びホームページによる情報発信に務めました。

(1) 法人の運営

①通常総会の開催

日時：2020 年 5 月 15 日（金）出席正会員 17 団体

方式：電子メール

議案：

(1) 2019 年度の事業報告書及び活動計算書

(2) 2020 年度の新監事 2 名（尾池富美子、石井ナナエ）の就任（任期は前監事の任期となるため 2 年間⇒1 年間と訂正し修正する）

上記 2 議案の提案に対して全正会員 17 団体から賛同の意見が表明され承認された。

②理事会の開催 6 回

第 1 回理事会

日時：2020 年 5 月 15 日（金）出席理事 7 名

方式：電子メール

議案：

(1) 2020 年度の代表理事及び副代表理事の互選

(2) NPO 法人民族フォーラム山本孟人理事長の相談役就任（任期 1 年間）

上記 2 議案の提案に対して、代表理事に富永幸子、副代表理事に筒井哲朗及び赤石和則の選任並びに相談役に山本孟人の就任に関して、理事 7 名全員から賛同の意見が表明され承認された。

第 2 回理事会

日時：2020 年 10 月 2 日（金）出席理事 7 名

方式：電子メール

議案：

- (1) 外務省、独立行政法人国際協力機構 (JICA)、認定 NPO 法人国際協力 NGO センター (JANIC) 共同キャンペーン「輪になって語ろう。地球の未来。 EARTH CAMP」(2020 年 10 月 6 日～2021 年 3 月末) への参加

上記議案の提案に対して理事 7 名全員から賛同の意見が表明され承認された。

第 3 回理事会

日時：2020 年 12 月 1 日 (火) 出席理事 7 名

方式：電子メール

議案：さいたま市長へ「さいたま市内公衆無線 LAN サービスの設置拡大について」要望書の提出

上記議案に対して理事 7 名全員から賛同の意見が表明され承認された。

第 4 回理事会

日時：2021 年 1 月 6 日 (水) 10:30～11:30 出席理事 5 名、監事 1 名

方式：オンライン

議案：

- (1) 次年度の計画・予算の策定に向けて日程確認とスケジュール調整
- (2) 役員改選について

上記議案に対して意見交換が行われた。

第 5 回理事会

日時：2021 年 3 月 3 日 (水) 10:30～11:30 出席理事 5 名、監事 1 名

方式：オンライン

議案：

- (1) 会員退会について
- (2) 役員改選について、
- (3) 次年度 (計画・予算) について

2020 年度内に 3 正会員・1 賛助会員から退会の意向がある旨報告があった。退会の時期に関しは次の理事会にて継続審議することとした。

監事 2 名・理事 2 名が任期満了をもち継続しないことの表明があり、後任候補の検討を行った。

2021 年度活動計画案ならびに予算案について筒井副代表理事から説明があり、出席理事一致で承認した。

第 6 回理事会

日時：2021 年 3 月 22 日 (月) 出席理事 6 名

方式：電子メール

議案：

国際協力 NGO センター (JANIC) 等市民団体によるミャンマー情勢に対する日本政府への「共同声明」賛同団体への参加
上記議案に対して理事 6 名から賛同が表明され承認された。

(2) NGO ネットワーキング

①情報交換会の開催 6 回

4 月情報交換会 新型コロナウイルスの影響により中止

5 月情報交換会 新型コロナウイルスの影響により中止

6 月情報交換会

日時：2020 年 6 月 17 日 (水) 9:30~11:30

会場：さいたま市民活動サポートセンター (さいたま市)

出席者：埼玉 NGO ネットワーク会員、埼玉県国際課、埼玉県国際交流協会、JICA 東京 13 名。

主な議題：

- (1) 埼玉 NGO ネットワークの今度これまでの経過とこれからの予定
- (2) 参加団体の情報意見交換

7 月情報交換会

日時：2020 年 7 月 22 日 (水) 9:30~10:00

会場：さいたま市桜木公民館講座室 2

出席者：埼玉 NGO ネットワーク会員、埼玉県内 NGO、埼玉県国際課、埼玉県国際交流協会、JICA 東京 16 名。

主な議題：参加団体の情報意見交換・連絡事項

10 月情報交換会

日時：2020 年 10 月 28 日 (水) 10:00~11:30

会場：オンライン

出席者：埼玉 NGO ネットワーク会員、JICA 東京 10 名

主な議題：

- (1) 埼玉県国際協力情報交換会 2020 について
- (2) グローバルセミナー2021 について
- (3) 外務省・JICA・JANIC 国際協力共同キャンペーンについて
- (3) 埼玉県 SDG s 官民連携プラットフォームについて
- (4) 民族フォーラム山本理事長提案事項について
- (5) 団体からの情報交換

12 月情報交換会

日時：2020 年 12 月 2 日 (水) 10:00~11:30

会場：オンライン

出席者：埼玉 NGO ネットワーク会員 8 名

主な議題：

- (1) 埼玉県国際協力情報交換会 2020 終了報告
- (2) グローバルセミナー2021 について
- (3) 2021 年度事業計画について
- (4) 団体からの情報提供

1 月情報交換会

日時：2021 年 1 月 6 日（水）9:30～10:30

会場：オンライン

出席者：埼玉 NGO ネットワーク会員 12 名

主な議題：

- (1) グローバルセミナー2021 についての最終確認
- (2) 情報交換
- (3) 今後の日程確認（次年度事業計画・活動予算・役員改選について）

3 月情報交換会

日時：2021 年 3 月 3 日（水）9:30～10:30

会場：オンライン

出席者：埼玉 NGO ネットワーク会員 8 名

主な議題：

- (1) グローバルセミナー2021 実施報告
- (2) 情報交換
- (3) 今後の日程確認（次年度事業計画・活動予算・役員改選について）

②公開勉強会の開催 1 回

第 1 回公開勉強会

日時：2020 年 7 月 22 日（水）10:00～11:45

会場：さいたま市桜木公民館

テーマ：新型コロナ禍における国際協力と NGO の役割

講師：認定 NPO 法人国際協力 NGO センター（JANIC）若林秀樹事務局長

参加者：埼玉 NGO ネットワーク会員、埼玉県内 NGO、埼玉県国際課、埼玉県国際交流協会、JICA 東京 16 名。

③会員等への ML 情報提供・交換 223 回

埼玉県内国際協力関係者を対象にした事務局長が管理人を務める埼玉県国際協力 NGO メーリングリストを活用して、NGO の事業案内・報告、JICA の NGO 連携事業案内、外務省 ODA や NPO 法改正等の情報などの情報を提供した。特に、新型コロナウイルスの影響に対応するため、情報の発信に努めた。

発信回数 223 回。

④団体会員間ネットワーク

団体会員間及び埼玉県国際課、埼玉県国際交流協会、JICA 東京などの関係機関と事業実施、組織運営等に当たり、相互協力や助言・支援・経験交流、埼玉 NGO ネットワーク会員メールングリストを通じての交流などネットワークを行った。

⑤団体会員事業への協力

団体会員の組織運営や助成金申請、海外事業などについて、年間を通じて経験のある団体会員及び事務局が意見交換、助言を行った。

⑥会員の入会促進

2021年3月31日現在 正会員 17 団体、賛助個人会員 2 名。

新規の会員の入会は有りません。

⑦会費の改定

会員サービス充実を図るため、2019 年度第 3 回理事会の決定に基づき、正会員会費を年 3,000 円から年 5,000 円で執行した。

⑧さいたま市公共施設利用登録

情報交換会等の会議、勉強会などで利用するため、さいたま市公共施設利用登録を行った。これにより公民館等の会議室を無料で使用できる事になった。なお、さいたま市民活動サポートセンターには従来通り団体登録を行っている。

2. NGO と関係機関連携推進事業

SDG s など共有する目的・目標の達成のため、団体会員と埼玉県国際課など自治体・国際交流協会、教育機関、JICA、県内海外協力 NGO、多文化共生 NPO、大学、全国のネットワーク NGO などとの幅広い国際協力団体・機関との連携を図りました。

(1) 関係機関との連携事業

①埼玉県国際協力情報交換会 2020

11月11日、国際協力機構（JICA）東京センターと共催し、埼玉県（国際課）を後援として「埼玉県国際協力情報交換会 2020～世界と私たちが繋がるグローバルな社会課題の学び・経験交流・連携の促進～」を開催した。参加申込者は 52 団体・111 名で埼玉県を中心に全国に渡り、国際協力 NGO、多文化共生 NPO、国際協力機関、自治体国際・多文化共生担当、大学教授及び大学生、開発協力コンサルタント、青少年団体、開発教育団体、SDG s 推進団体、ミャンマーから NGO 代表者など、国際協力（途上国支援＋多文化共生）の幅広いステークホルダーが参加した。内容も、講師の国内外の豊富な経験や熱意に裏打ちされた、SDG s の目的・目標を見据えた政策や実践など、充実した内容になり、参加者から高い評価が寄せられた。

基調講演は海外協力と国内地域づくり双方で活動している坂口和隆氏（シャプ
ラニール代表）、JICA 東京より NGO や自治体等連携事業の説明、埼玉県国際課よ
り多文化共生の地域づくりの説明。実践事例として、海外協力として自治体から
埼玉県企業局、NGO からエクアドルの子どものための友人の会（SANE）、国内の
地域づくりとして自治体からさいたま市、NPO からふじみの国際交流センターの
発表が行われた。その後、埼玉 NGO ネットワーク筒井哲朗副代表をファシリテ
ーターとして、発表者 6 名をパネリストに「世界と私たちが繋がる社会課題解
決のために、何ができるか、どう連携するか」をテーマに議論を深めた。

②埼玉県国際課との連携

共通の目的のために連携を深めた。6 月 8 日に新体制の代表理事等理事・監事が
国際課を訪問し課長、埼玉県国際交流協会事務局長等と意見交換を行った。埼玉
県国際協力情報交換会での企画での意見交換、後援名義、職員の講師派遣、国際
課長名義の県内自治体への参加案内を行った。定期の情報交換会に国際課担当
官が参加しての情報・意見交換、グローバルセミナーでの後援名義、県主催の埼
玉グローバル賞の広報協力など連携を深めた。

③公益財団法人埼玉県国際交流協会との連携

共通の目的のために連携を深めた。グローバルセミナーの後援名義、彩の国さい
たま国際交流・協力ネットワークの運営、情報交換会での情報・意見交換など
を行った。例年の同協会主催で出展していた国際フェアは新型コロナウイルスの
影響により中止となった。埼玉県では数少ない助成制度である彩の国さいたま
国際協力基金には、県内 NGO への広報に協力して応募を促した。

④独立行政法人国際協力機構（JICA）との連携

共通の目的のために連携を深めた。JICA 東京と埼玉県国際協力情報交換会及び
グローバルセミナーを共催した。JICA 埼玉デスクと年間を通じて情報・意見交
換を行った。JICA が行う NGO 向け事業マネジメント等研修及び草の根技術協力
事業の案内を県内 NGO に周知した。JICA が国内の外国人労働者問題に関する
試みである「外国人労働者受入れプラットフォーム」の設立フォーラム 11 月 16
日開催に参加した。

NGO-JICA 協議会

6 月 30 日（火）、2020 年度第 1 回オンライン会議が開催され埼玉 NGO ネットワ
ークも参加した。その中で、2019 年度に NGO - JICA 地域協議会各地で開催され
た。埼玉県では埼玉 NGO ネットワークと JICA 東京が 1 月に協議した内容がまと
め資料に掲載された。

⑤外務省との連携

国際協力局民間援助連携室所管の NGO 連携無償資金協力制度の 2020 年度説明会
が 6 月 22 日にオンラインで開催され、埼玉 NGO ネットワークも参加しその内容

を埼玉県内 NGO へ周知した。

NGO-外務省協議会

NGO-外務省協議会 ODA 提言政策協議会コーディネーターに埼玉 NGO ネットワーク筒井哲朗副代表理事が就任し、8月7日及び2月15日に開催された外務省との意見交換会に出席した。また、NGO-外務省連携推進委員会の NGO 意見交換会2月10日に参加した。OECD の DAC へ報告する NGO 国際協力実績調査に協力した。

⑥埼玉県共助社会づくり課との連携

同課主管の NPO 助成金や NPO 研修の案内を団体会員等に行った。同課が行った埼玉県内の NPO 実態調査に回答した。同課が発信している。新型コロナウイルス関係を含む NPO 向け情報を団体会員など NGO に周知した。

⑦さいたま市との連携

12月10日（木）、「さいたま市内公衆無線 LAN サービスの設置拡大について」要望書をさいたま市長に提出した。コロナ禍で対面ミーティングや勉強会の開催が難しくなったことで、市民活動の活性化に繋げるため市内公共施設に FB 等の設置を要請したもので、都市戦略本部情報政策部長が受領した。また、埼玉県国際協力情報交換会及びグローバルセミナーの講師に市都市経営戦略部 SDG s 担当職員の参加を得た。

⑧埼玉県 SDG s 官民連携プラットフォームとの連携

埼玉県は SDG s の推進に当たり、官民連携を進めるため9月1日に埼玉県 SDG s 官民連携プラットフォームを設立し、県内の自治体、企業、NPO、大学等に参加を呼び掛けた。埼玉 NGO ネットワークは理事会の承認を得て入会した。10月23日にさいたま市で第1回設立記念シンポジウムを開催し、埼玉 NGO ネットワークも参加した。

⑨大学との連携

芝浦工業大学環境システム学科中口毅史研究室とは、団体会員入会を含め、県立蕨高校グローバル人材育成授業への団体会員の参加など連携を進めた。

⑩自治体国際化協会市民国際プラザ

一般社団法人自治体国際化協会の市民国際プラザ（JANIC より出向）とは情報交換を行った。埼玉県関係団体等へ、同団体が開催する自治体・国際交流協会・NGO 向け国際協力及び多文化共生事業の案内、情報の提供を行った。埼玉県国際協力情報交換会に同団体担当官が参加した。自治体国際化協会市民国際プラザ主催・共催の地域国際化フォーラム1月28日、国際化市民フォーラム2月13日など国際協力・多文化共生に関するセミナー等に埼玉 NGO ネットワークも参加した。

⑪埼玉県国際協力 NGO メーリングリストの活用

事務局長が管理人を務める埼玉県国際協力 NGO メーリングリストを活用して、埼玉県内の海外協力や多文化共生を行う NGO/NPO 等に、海外協力及び多文化共

生、助成、ファンドレイジングに関する情報を提供・交換し、団体及び埼玉県全体の国際協力の向上を進めた。また、新型コロナウイルス関係の情報に関心が高い事もあり、途上国や非営利団体への支援策などの情報提供にも力を入れた。発信回数 223 回。

⑫その他

日本 NPO センター主催の NPO 法人組織基盤強化フォーラム 1 月 27 日オンラインで開催に埼玉 NGO ネットワークも参加した。日本赤十字社主催の国際協力現地スタッフの安全管理セミナー 2 月 25 日オンライン開催に埼玉 NGO ネットワークも参加した。その成果はメーリングリストを通じて団体会員等と共有した。

(2) 全国の NGO との連携事業

①彩の国さいたま国際交流 協カネットワーク

同ネットワーク代表幹事団体として、全体会・幹事に議長として参加すると共に、新規事業である彩の国国際団体ネットワークメーリングリストに情報発信を行った。新型コロナウイルスの影響により幹事は 9 月 14 日にオンライン会議で開催され、2020 年度幹事団体・前年度事業報告・今年度事業計画が承認された。全体会は 10 月に書面審査で開催され議案が承認された。これにより埼玉 NGO ネットワークは今年度も引き続き代表幹事団体に就任した。研修会は中止となり新規事業のテーマ別分会も延期となった。

②全国のネットワーク NGO との連携

全国 12 の地域ネットワーク NGO (事務局国際協力 NGO センター JANIC) の連携に参加し、情報・意見交換図った。

関西 NGO 協議会が受託した外務省 NGO 研究会「COVID-19 拡大に対する日本の NGO の対応戦略」の日本全国 NGO 調査に回答すると共に、県内 NGO へ案内を行った。また、3 月 5 日に最終報告会が外務省主催・関西 NGO 協議会実施でオンライン開催され埼玉 NGO ネットワークも参加した。

③認定 NPO 法人国際協力 NGO センター (JANIC) との連携

全国的 NGO ネットワーク組織で事業及び運営に経験・知識等を有する JANIC と、勉強会へ若林事務局長を招聘し、JANIC 主催の NGO 研修・セミナーへの参加、情報・意見交換を通して連携を進めた。同センター等が主催するグローバルフェスタは新型コロナウイルスの影響により中止となった。また、自治体国際化協会市民国際プラザ (JANIC より出向) とは連絡、情報交換を行った。6 月 19 日に開催された JANIC2020 年度通常総会・意見交換会に参加した。

JANIC と外務省・JICA による国際協力共同キャンペーン「輪になって語ろう。地球の未来。EARTH CAMP」に、埼玉 NGO ネットワークは全国の地域 NGO ネットワークと共に協力団体として参加し、埼玉県内の NGO に参加を呼び掛けた。10 月 6

日から翌年 3 月までを実施期間とし、新型コロナウイルスにより「グローバルフェスタ」や各団体国際協力イベントが中止となっている事から、国際協力の関係機関、団体が共同して全国的に国際協力の発信を行うもの。

グローバルな社会課題解決に関わるさまざまなアクターが学び、出会い、共創を促すカンファレンス「HAPIC（ハピック）2021」に参加した。「HAPIC」は、「私たちが切り拓く、共に生きる社会とは」をテーマに、現代社会の重要な社会課題に切り込む、30 のセッションを実施され、課題解決の最新動向やホット 이슈を扱ったセッション、最前線で活躍する登壇者や参加者とのネットワーキング、新しい解決のアイデア、そして何よりも NGO、企業、政府機関、メディア、学生など垣根を超えた人びとの出会いの場を提供した。

12 月 18 日（金）、新型コロナウイルスの影響により現場に行けない国際協力の試みを考える NGO - JICA 勉強会がオンラインで開催され、埼玉 NGO ネットワークも参加した。

④埼玉県内 NGO/NPO との連携

新型コロナウイルスの影響により非営利法人も事業・組織運営に影響を受けており、埼玉県のさいたま NPO センター等が賛同団体を募り、政府中小企業・個人事業主支援金の対象に非営利法人（NPO 法人、公益法人等）を含める要請書を 5 月 19 日に埼玉県知事に提出した。埼玉 NGO ネットワークも理事会の決定を受けて賛同団体に参加した。また、要請書作成に当たり県内非営利法人アンケートにも回答した。

埼玉県の国際協力 NGO 及び多文化共生 NPO には埼玉県国際協力 NGO メーリングリストを活用して情報の提供、埼玉県国際協力情報交換会への参加、彩の国さいたま国際協力基金への周知及び応募に当たっての助言、公開勉強会への参加などを通じて連携に努めた。

さいたま NPO センターとはメーリングリストを通じて情報交換を行った。

3. グローバル教育推進事業

グローバルな社会的課題の理解促進と、その解決に寄与するグローバル市民の育成のためグローバル教育を進めました。

(1) グローバル市民育成事業

①グローバルセミナーの開催

グローバルセミナー2021～地域で育むパートナーシップ～

日時：2021 年 2 月 14 日（日）13：00～16：50

開催方式：オンライン（ZOOM）＋一部集合方式

主催：埼玉 NGO ネットワーク、国際協力機構 JICA 東京

後援：埼玉県、埼玉県国際交流協会、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会、生活協同組合コープみらい埼玉県本部、埼玉新聞社

基調発題：SDG s の今とこれからの 10 年を考えよう～イギリスで出会った多様なとりくみ～石川一喜（拓殖大学国際学部准教授）

実践事例発表：パートナーシップによる多様な「きょういく」のとりくみ、SDG s 地域でとりくむパートナーシップの活動、行政、企業、NGO/NPO 県内の取り組み紹介タイム、参加者同士のグループワーク & 全体発表

(2) 市民向け理解促進事業

①国際フェアへの出展参加

埼玉県国際交流協会主催の埼玉県の NGO の祭典である国際フェア 2020 は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

②ホームページによる情報発信、埼玉県国際協力 NGO フェイスブックの活用

埼玉 NGO ネットワークのホームページでネットワーク事業、団体会員事業告知・報告、国際協力関係や助成等の情報を年間通じて発信し、広く理解促進や参加を図った。また、新型コロナウイルス関係の情報に関心が高い事もあり、事務局長が管理人の埼玉県国際協力 NGO フェイスブックの活用を含めて、途上国や国際協力、非営利団体への支援策などの情報収集及び発信に力を入れた。

埼玉 NGO ネットワークホームページ情報発信回数 94 回

埼玉県国際協力 NGO フェイスブック活用回数 371 回。

③広報リーフレットの発行

埼玉 NGO ネットワーク及び NGO 会員に関する情報を掲載したリーフレットを発行し、広く理解促進を図った。

4. 調査事業

中規模 NGO の持続性、SDG s、多文化共生、海外協力など埼玉 NGO ネットワークの目的、役割に関するテーマに関して資料・データ等を収集し、必要に応じて団体会員や埼玉県内の国際協力関係者にメーリングリスト等を通して提供した。

以上